

(様式2)

公の施設の指定管理者制度導入施設の管理運営状況調書【対象年度:令和5年度】

所管部・課	観光文化スポーツ部・観光課
指定管理者	一般社団法人田沢湖・角館観光協会

1 施設名等

施設名	仙北市観光情報センター「角館駅前蔵」	施設の所在地	仙北市角館町上菅沢394-2
-----	--------------------	--------	----------------

2 施設の概要

設置年月	平成9年4月	根拠条例等	仙北市角館駅前広場観光振興施設条例
設置目的	仙北市の観光振興と利用者の利便性の促進を図るため		
施設内容	観光情報センター角館駅前蔵、駅前広場、駐輪場、憩いの場スタシオン		
利用料金	観光情報センター角館駅前蔵:無料、駐輪場:無料		

3 指定期間・選定方法

指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:1) 非公募(随意指定)

4 収支の状況(決算ベース)

※財源内訳 ①指定管理料のみ ②指定管理料+利用料金収入 ③利用料金収入のみ (単位:千円)

項目/年度		令和4年度	令和5年度	項目/年度		令和4年度	令和5年度
収入	指定管理料	10,446	10,446	支出	維持管理費	10,877	10,924
	利用料金収入	0	0		事業費	0	0
	その他	217	311		その他	793	489
収入合計 ①		10,663	10,757	支出合計 ②		11,670	11,413
※臨時的経費除く。				収支差引(①-②)		-1,007	-656

5 指定管理者の業務内容

- ・施設及び設備の維持管理に関する業務・センターの利用の許可に関する業務
- ・上記業務に附帯する業務
- ・自主事業

6 利用実績等

(1)利用実績【指標:利用者数 利用件数・稼働率】 (単位:人、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度(A)	6,110	2,200	3,175	1,590	2,205	2,710	2,723	1,995	1,425	1,275	1,895	2,012	29,315
令和4年度(B)	3,390	1,700	1,985	1,950	1,575	2,180	5,455	2,525	970	890	1,005	2,265	25,890
(A)/(B)	180.2%	129.4%	159.9%	81.5%	140.0%	124.3%	49.9%	79.0%	146.9%	143.3%	188.6%	88.8%	113.2%

(2)利用料金収入 (単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和4年度(B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)/(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1～3、5:所管課記入・4、6:指定管理者記入

7 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価記入) ※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項 目	指 定 管 理 者	所 管 課		
		評価	評価	
施設の目的に沿った管理運営	協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を実施できた。	B	協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を概ね実施したと認められる。	B
平等な利用の確保	利用者に対しては安全で平等な利用を確保した。	B	平等な利用を概ね確保できたと認められる。	B
利用者サービス向上の取組	利用者の声を把握し、速やかな対応に努めた。ポスター・パンフレットの陳列に工夫を凝らし、内部の充実に努めた。	B	適切な対応により、サービスの向上がなされている。	B
自主事業	少子高齢化による、地域の担い手不足により、伝統行事継承が課題、また同様に予算の縮小も見られ深刻化している。持続可能なあり方を考える必要がある。	B	様々な課題がある中で、持続可能なあり方を検討し、自主事業の継続を期待する。	B
職員・管理体制	常勤職員:4名、非常勤職員:4名、計8名 仕様書及び事業計画書に基づき職員配置を行った。	B	仕様書及び事業計画書に基づいた職員配置がなされている。	B
収支状況	収入10,757千円に対し、支出は11,413千円だった。世界情勢による変化が大きく、燃料等の物価高騰や賃金上昇に対応していかなければならない。	B	令和4年度に比べ、収支状況が改善されており、世界情勢に順応した経営が伺える。維持管理費の増加に適切に対応するとともに、人員配置のあり方等を見直すことでさらなる収支改善を期待する。	B
今年度の取組 (令和5年度)	施設備品の老朽化に伴い、細かな修繕では間に合わない。トイレの雨漏りや木造部の腐食など、大規模改修や修繕をお願いしたい。案内所業務はインバウンド受け入れや情報発信に一層力を注ぐ。		老朽化した施設について、公共施設総合計画に基づき適切に対応したい。利用者へのサービス向上と、利用者の増加を図るための検討を再度行っていただきたい。	
総合評価	おおむね協定書等に基づいた管理運営を実施できた。	B	おおむね仕様書等の内容通りの成果があり、適切な管理運営が行われている。	B

〈指定管理者評価区分〉

- A:仕様書等の内容を上回る成果であった。
 B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果であった。
 C:仕様書等の内容を下回る項目があった。
 D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項があった。

〈所管課評価区分〉

- A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われた。
 B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われた。
 C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

8 制度の効果及び施設管理運営の課題

項 目	指 定 管 理 者	所 管 課
制度の効果	利用者に対し、スムーズな案内及び平等な対応がとれ、アンケート等からも利用者から評価が得られたと考えます。	おおむね適切なサービスが行われているが、更なるサービスの向上を図るなど、指定管理者制度の導入による効果を期待する。
施設の管理運営の課題	施設の老朽化が見られ、計画的な改修が必要と思われる。物価上昇に管理料伴っていないため、数年赤字が続いている。全体の設計を見直し適正な管理ができるようにお願いします。	設備の経年劣化が見られるが、不具合を未然に防ぐため、定期的に点検等を行い、大規模な故障を未然に防ぐ対応を行って欲しい。

※7～8:指定管理者及び所管課記入